

めぐみイエス・キリスト教会

2023年1月29日(日)第五主日礼拝

午前10時より

週報「通算第642号」



2023年標題聖句

第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌411「御恵みの高嶺に」 p. 658

【交読文】 No.26 詩篇第84篇 p. 899

【賛美Ⅱ】 新聖歌428「キリストには代えられません」p. 690

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「愛の国となるために」

【聖書朗読】 使徒の働き21章27節～40節 新約p. 280上段

【礼拝説教】 《パウロの捕縛》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1. 「トロフィモ」とは？

■トロフィモ(トロピモ) エペソの異邦人キリスト者で、エペソでの大女神アルテミスの騒動の後、パウロがマケドニアに向けて伝道旅行をした時に同行した。トロフィモはアジアの諸教会の代表者の一人であった。また後に、トロフィモが病気のためにミレトに残ったということがテモテへの手紙に書かれている。

※使徒の働き20章1節～4節「エペソにて」 (新約p.265上段)

20:1 騒ぎが収まると、パウロは弟子たちを呼び集めて励まし、別れを告げ、マケドニアに向けて出発した。

20:2 そして、その地方を通り、多くの言葉をもって弟子たちを励まし、ギリシアに来て、

20:3 そこで三か月を過ごした。そして、シリアに向けて船出しようとしていたときに、パウロに対するユダヤ人の陰謀があったため、彼はマケドニアを通過して帰ることにした。

20:4 彼に同行していたのは、ピロの子であるベレア人ソパテロ、テサロニケ人のアリストアルコとセクンド、デルベ人のガイオ、テモテ、アジア人のティキコとトロフィモであった。

●ポイント2.「主イエス様の預言が成就したこと」とは？

※使徒の働き9章15節～16節「アナニヤへの言葉」(新約p.265上段)

9:15 しかし、主はアナニヤに言われた。「行きなさい。あの人は私の名を、異邦人、王たち、イスラエルの子らの前に運ぶ、私の選びの器です。

9:16 彼が私の名のためにどんなに苦しまなければならないかを、私は彼に示します。」

●ポイント3.「あのエジプト人」とは？

歴史家ヨセフォスによれば、紀元54年に、あるエジプト人が預言者であると自称してエルサレムに現われ、反乱を起こそうとしたが失敗し、逃げて行方不明になった、と言う事件が数年前にあったので、千人隊長は、パウロがあのかのエジプト人ではないかと考えたのである。

※ルカの福音書12章11節～12節「主イエスの言葉から」(新約p.339)

12:11 「また、人々があなたがたを、会堂や役人たち、権力者たちの所に連れて行ったとき、何をどう弁明しようか、何を言おうかと心配しなくてよいのです。

12:12 言うべきことは、そのときに聖霊が教えて下さるからです。」

◎先週の礼拝メッセージ【主の兄弟ヤコブの提案】

《使徒の働きに戻ります。パウロは、異邦人教会の長老たちと共にエルサレムにやって来ました。そして、主の兄弟ヤコブの所を尋ねたのです。何とそこには、エルサレム教会の長老たちが、みな集まっていました。パウロは、同行してきた長老たちを一人一人紹介して、自分の奉仕を通して神様が異邦人の間でなされたことを、証しました。

ヤコブと長老たちは、これを聞いて神様を誉め讃えたのです。そして、ヤコブが代表として、パウロに言いました。『「兄弟よ。ご覧のとおり、ユダヤ人の中で信仰に入っている人が何万となくいますが、みな律法に熱心な人たちです。ところが、彼らがあなたについて聞かされているのは、あなたが、異邦人の中にいるすべてのユダヤ人に、子どもに割礼を施すな、慣習にしたがって歩むなどと言って、モーセに背く様に教えている、ということなのです。』と。

パウロがその様に教えていないことは、ヤコブと長老たちは知っています。しかし、あえてヤコブは、一步譲った打開策を提案します。『それで、どうしましょうか。あなたが来たことは、必ず彼らの耳に入るでしょう。ですから、私たちの言うとおりにして下さい。私たちの中に、誓願を立てている者が四人います。この人たちを連れて行って、一緒に身を清め、彼らが頭を剃る費用を出してあげて下さい。そうすれば、あなたについて聞かされていることは根も葉もないことで、あなたも律法を守って正しく歩んでいることが、皆に分かるでしょう。』と。

パウロは、ヤコブの提案を喜んで受け、同胞で主イエスを信じたユダヤ人の兄弟たちをつまづかさせない為に、また彼自身もナジル人としての誓願をしていた為、四人の兄弟と共に、神殿の中に入って行きました。パウロは、異邦人はもとより、同胞ユダヤの人々が一人でも多く救われることを、心から願い、また祈っていたからです。》

お知らせ

※次回の礼拝は、2月5日(日)です。鈴木師は、2月11日(土)鴨川「亀の井ホテル」にて催されます「房総聖会」に出席する予定です。